

長崎県内の胃がん検診の実績と 精度管理について

〔 地域保健・健康増進事業報告(厚労省)
2023.03 公表値より 〕

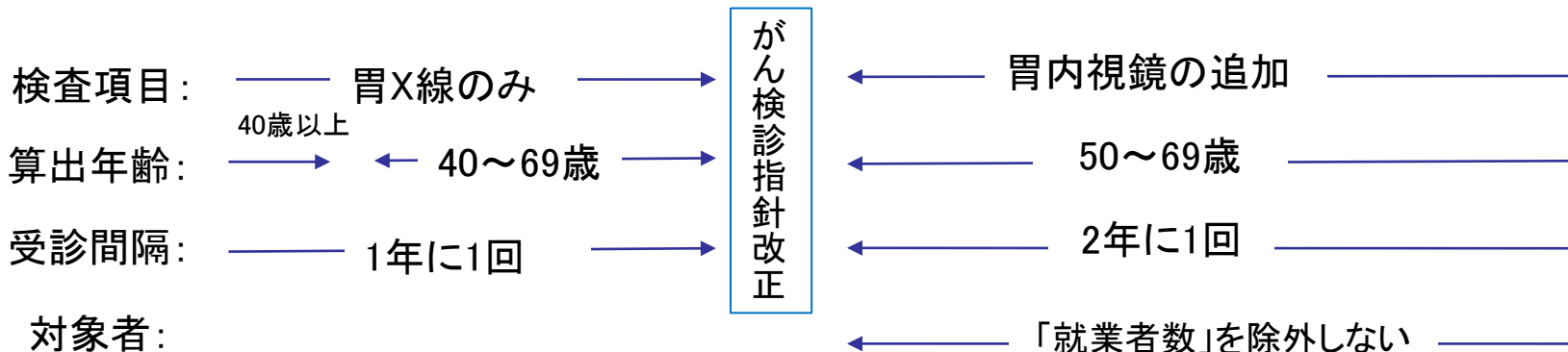
2023.12.20

長崎県保健医療対策協議会
がん対策部会胃がん委員会

▶ 1.胃がん検診受診率の状況

▶ 地域保健・健康増進事業報告(厚労省)公表値によると、令和3年度(長崎県)は **9.0 %**で、全国平均 6.5 %を上回り、全国13位。

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国	9.0	9.6	9.3	6.3	8.6	8.4	8.1	7.8	7.0	6.5
長崎	10.3	10.5	10.2	7.9	12.3	13.4	10.4	10.3	9.6	9.0



※検査項目、算出年齢、受診間隔、対象者の計上方法が年度によって変更されているので、H27年度以前の経年的な比較はできない。

※公表値には不詳なデータがある長崎市(H28、H29)と島原市(H29)が含まれていない。

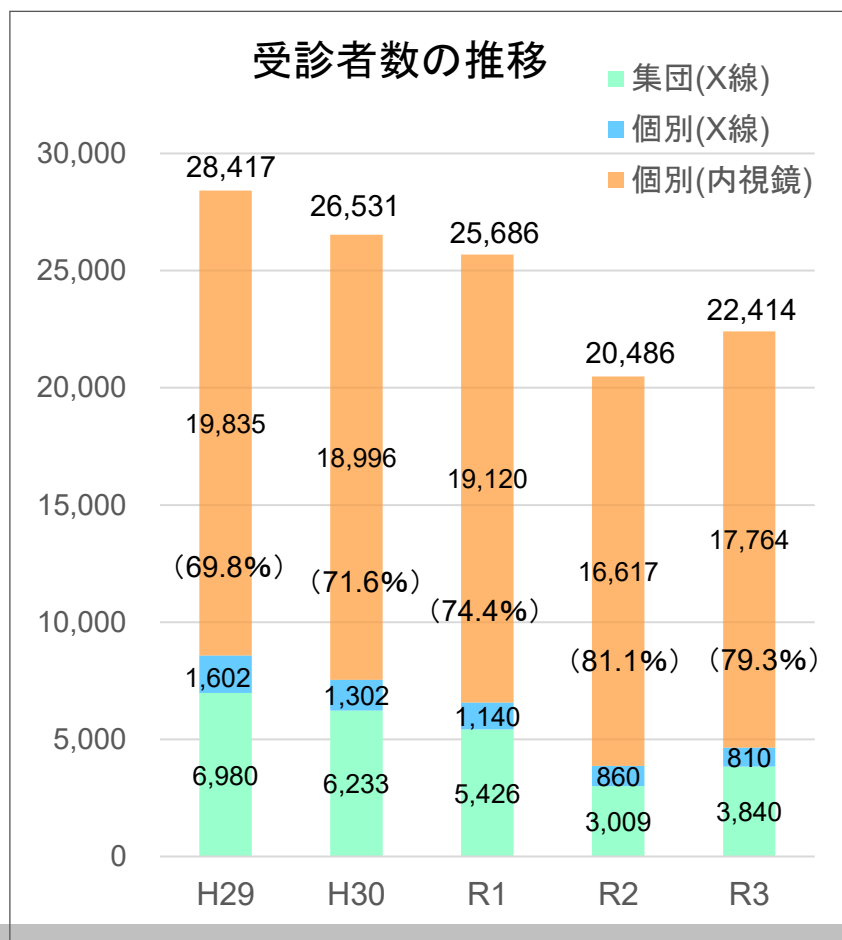
※H29年度以降で比較すると、全国・長崎ともに年々低下している。特にR2・R3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響があると思われる。

2. 胃がん検診受診者数と受診率(検査項目別)

1) 受診者数の推移

受診者数は、X線では集団検診、個別検診ともにR2年度で大きく減少している。R3年度で若干増加したものの、R1年度まで回復していない。

内視鏡(個別)は全体に占める割合は大きく、R3年度は全体の約8割がとなっている。



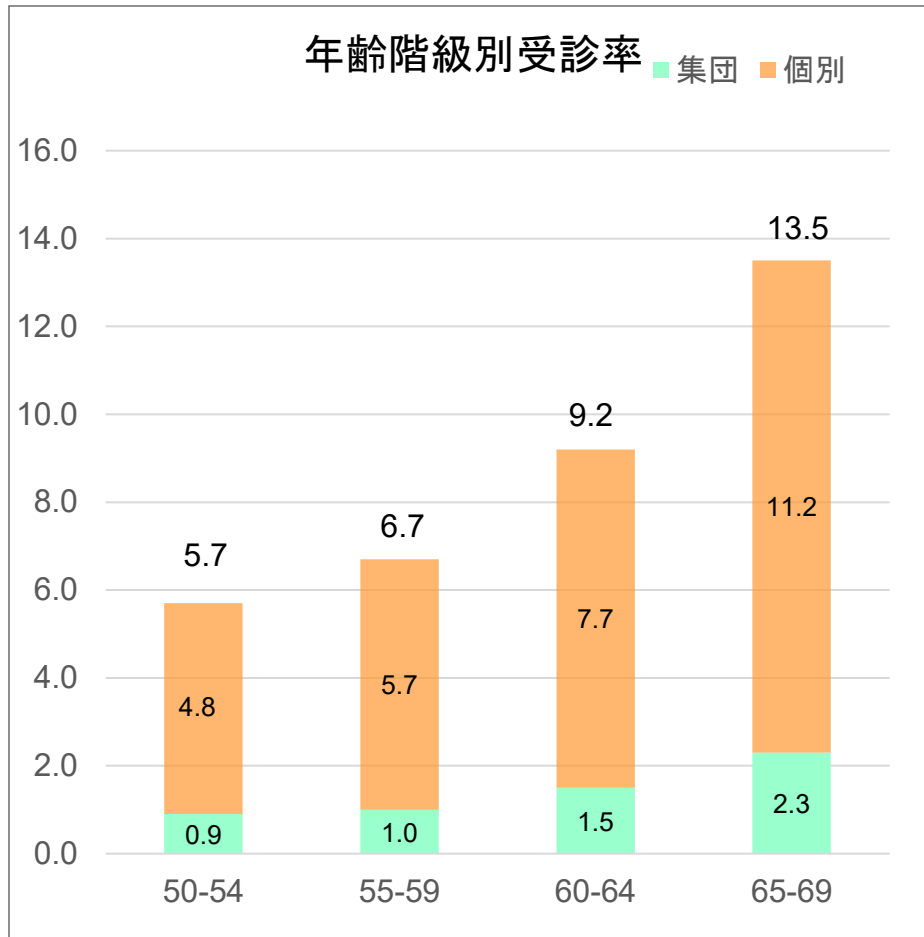
(50-69歳)	H29	H30	R1	R2	R3
集団(X線)	6,980	6,233	5,426	3,009	3,840
個別(X線)	1,602	1,302	1,140	860	810
個別(内視鏡)	19,835	18,996	19,120	16,617	17,764
合計	28,417	26,531	25,686	20,486	22,414

【参考】

(全年齢)	H29	H30	R1	R2	R3
集団(X線)	12,036	11,003	10,082	5,659	7,399
個別(X線)	2,695	2,272	2,075	1,489	1,424
個別(内視鏡)	37,309	36,929	39,330	35,391	38,251
合計	52,040	50,204	51,487	42,539	47,075

2)令和 3年度年齢階級別受診率

▶ 受診率は、年齢階級が高くなるにつれ、集団検診、個別検診ともに高くなっている。



年齢階級	区分	対象者数	受診者数		受診率
			胃X線	胃内視鏡	
50-54	集団	85,606	525	-	0.9
	個別		122	2,605	4.8
	計		647	2,605	5.7
55-59	集団	81,607	598	-	1.0
	個別		126	2,979	5.7
	計		724	2,979	6.7
60-64	集団	91,113	1,009	-	1.5
	個別		240	4,536	7.7
	計		1,249	4,536	9.2
65-69	集団	102,106	1,708	-	2.3
	個別		322	7,644	11.2
	計		2,030	7,644	13.5

3.令和 2年度胃がん検診成績(50~69歳)

1)令和 2年度胃がん検診成績

【X線および内視鏡】

		精 検 受 診									精 検 結 果 別 人 数						陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	早期がん割合 H/G	粘膜内がん割合 I/G	
		受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	がん G	早期がん H	粘膜内がん I	がん疑い及び未確定 J	がん以外の疾患 K					
集団	X線	3,009	191	6.3	164	85.9	18	9.4	9	4.7	30	4	3	2	2	128	2.09	0.13	75.0	50.0	
	内視鏡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	集団計	3,009	191	6.3	164	85.9	18	9.4	9	4.7	30	4	3	2	2	128	2.09	0.13	75.0	50.0	
個別	X線	859	62	7.2	50	80.6	3	4.8	9	14.5	7	0	0	0	43	0.00	0.00	0.0	0.0		
	内視鏡	16,619	562	3.4	532	94.7	18	3.2	12	2.1	121	33	22	13	4	374	5.87	0.20	66.7	39.4	
	個別計	17,478	624	3.6	582	93.3	21	3.4	21	3.4	128	33	22	13	4	417	5.29	0.19	66.7	39.4	
合計	X線	3,868	253	6.5	214	84.6	21	8.3	18	7.1	37	4	3	2	2	171	1.58	0.10	75.0	50.0	
	内視鏡	16,619	562	3.4	532	94.7	18	3.2	12	2.1	121	33	22	13	4	374	5.87	0.20	66.7	39.4	
	総計	20,487	815	4.0	746	91.5	39	4.8	30	3.7	158	37	25	15	6	545	4.54	0.18	67.6	40.5	

【参考】

70歳以上	X線	3,278	242	7.4	215	88.8	14	5.8	13	5.4	26	8	7	5	0	181	3.31	0.24	87.5	62.5
	内視鏡	18,766	868	4.6	829	95.5	22	2.5	17	2.0	142	85	59	35	12	590	9.79	0.45	69.4	41.2
	総計	22,044	1,110	5.0	1,044	94.1	36	3.2	30	2.7	168	93	66	40	12	771	8.38	0.42	71.0	43.0

2)令和 2年度胃がん検診成績(初回受診者の成績) (再掲)

【X線および内視鏡】

		精 検 受 診									精 検 結 果 別 人 数						陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	早期がん割合 H/G	粘膜内がん割合 I/G
		受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	が ん G	早期がん H	粘膜内がん I	がん 疑い及び 未確定 J	がん 以外の疾患 K				
集団	X線	725	68	9.4	54	79.4	11	16.2	3	4.4	12	3	2	1	1	38	4.41	0.41	66.7	33.3
	内視鏡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	集団計	725	68	9.4	54	79.4	11	16.2	3	4.4	12	3	2	1	1	38	4.41	0.41	66.7	33.3
個別	X線	245	21	8.6	16	76.2	2	9.5	3	14.3	3	0	0	0	0	13	0.00	0.00	0.0	0.0
	内視鏡	5,789	228	3.9	219	96.1	7	3.1	2	0.9	52	19	12	6	1	147	8.33	0.33	63.2	31.6
	個別計	6,034	249	4.1	235	94.4	9	3.6	5	2.0	55	19	12	6	1	160	7.63	0.31	63.2	31.6
合計	X線	970	89	9.2	70	78.7	13	14.6	6	6.7	15	3	2	1	1	51	3.37	0.31	66.7	33.3
	内視鏡	5,789	228	3.9	219	96.1	7	3.1	2	0.9	52	19	12	6	1	147	8.33	0.33	63.2	31.6
	総計	6,759	317	4.7	289	91.2	20	6.3	8	2.5	67	22	14	7	2	198	6.94	0.33	63.6	31.8

【参考】

70歳 以上	X線	453	49	10.8	40	81.6	2	4.1	7	14.3	2	1	0	0	0	37	2.04	0.22	0.0	0.0
	内視鏡	3,885	254	6.5	241	94.9	5	2.0	8	3.1	41	36	24	15	3	161	14.17	0.93	66.7	41.7
	総計	4,338	303	7.0	281	92.7	7	2.3	15	5.0	43	37	24	15	3	198	12.21	0.85	64.9	40.5

3)令和 2年度胃がん検診成績(年齢階級別)

【X線および内視鏡】

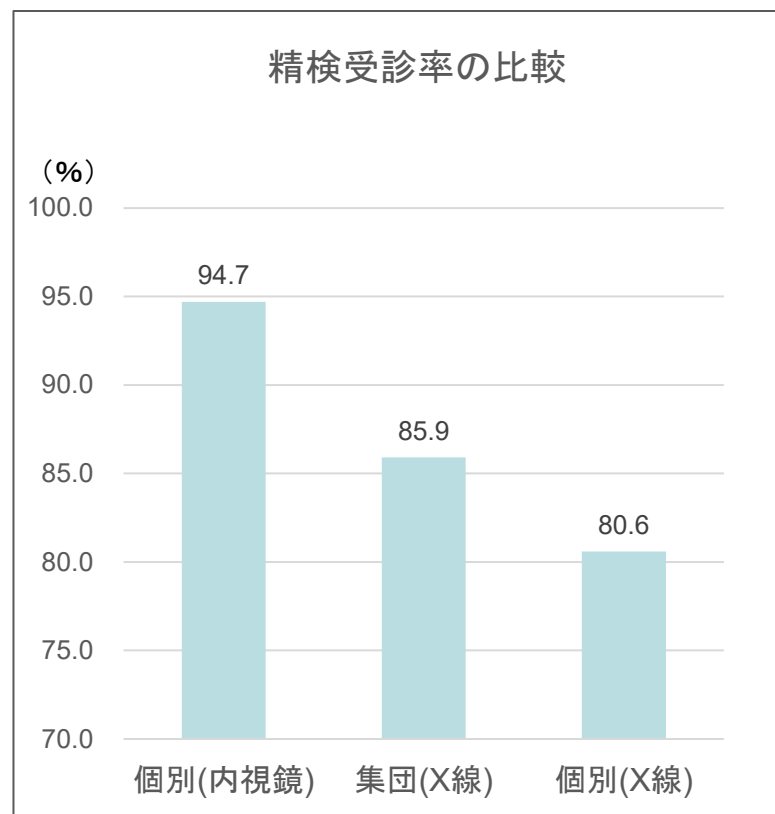
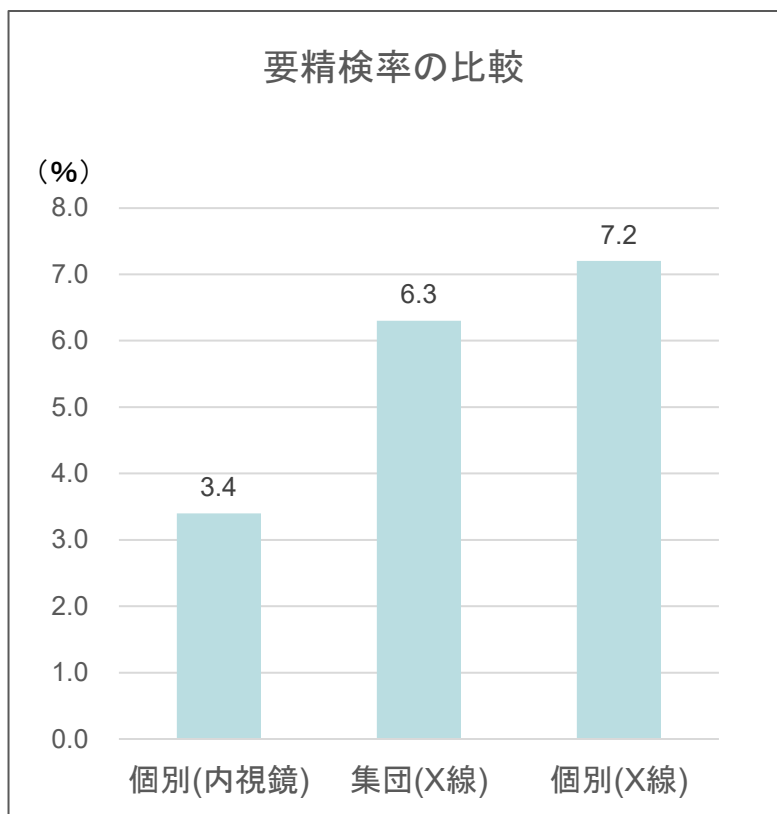
年齢階級	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検受診						精検結果別人数						陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	早期がん割合 H/G	粘膜内がん割合 I/G
				あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	がん G	早期がん H	粘膜内がん I	がん疑い及び未確定 J	がん以外の疾患 K				
50-54	2,799	82	2.9	72	87.8	5	6.1	5	6.1	18	2	1	0	0	52	2.44	0.07	50.0	0.0
55-59	3,432	112	3.3	100	89.3	7	6.3	5	4.5	24	8	5	3	0	68	7.14	0.23	62.5	37.5
60-64	5,227	191	3.7	176	92.1	9	4.7	6	3.1	35	8	6	4	2	131	4.19	0.15	75.0	50.0
65-69	9,029	430	4.8	398	92.6	18	4.2	14	3.3	81	19	13	8	4	294	4.42	0.21	68.4	42.1
合計	20,487	815	4.0	746	91.5	39	4.8	30	3.7	158	37	25	15	6	545	4.54	0.18	67.6	40.5

【参考】

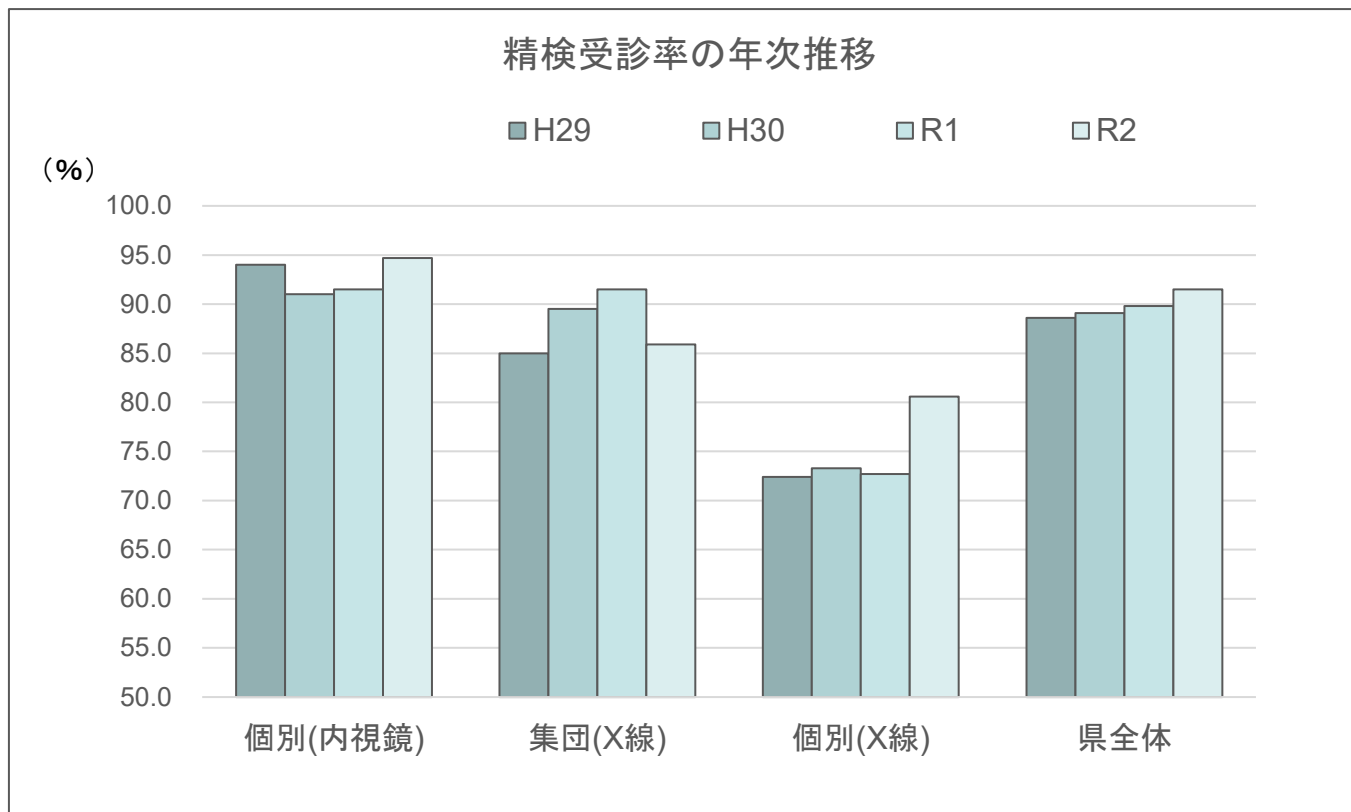
70歳以上	22,044	1,110	5.0	1,044	94.1	36	3.2	30	2.7	168	93	66	40	12	771	8.38	0.42	71.0	43.0
-------	--------	-------	-----	-------	------	----	-----	----	-----	-----	----	----	----	----	-----	------	------	------	------

4)プロセス指標の検診項目別の比較

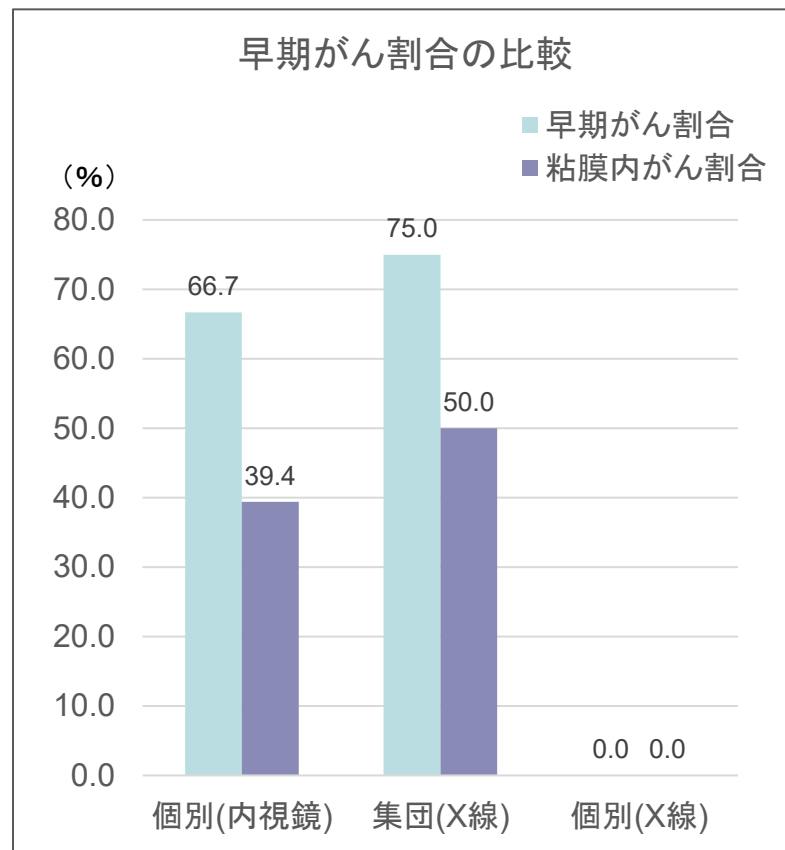
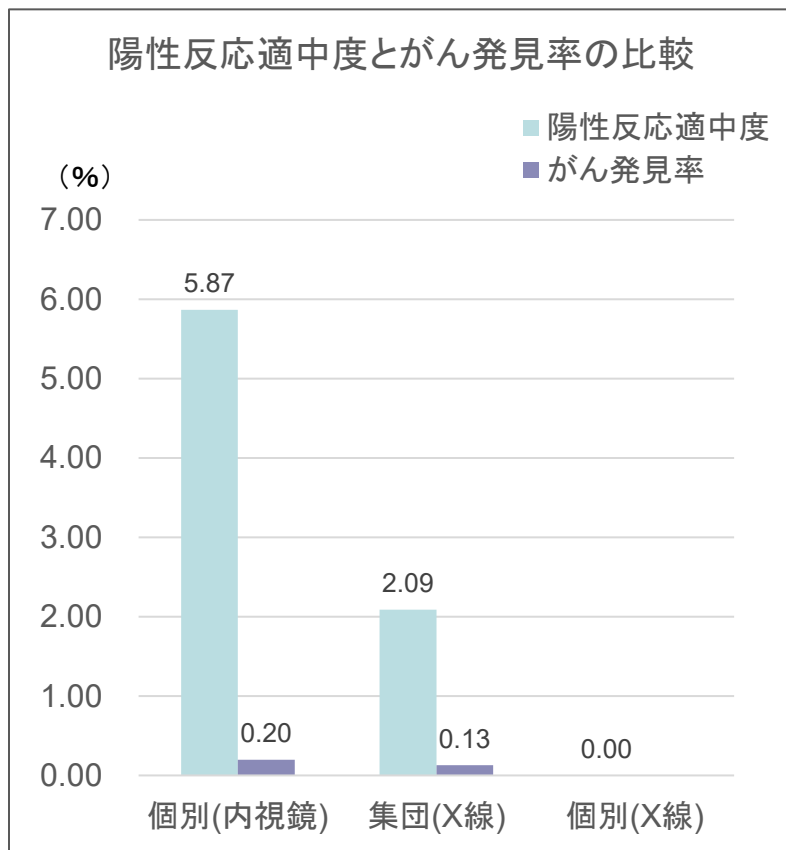
- ▶ 要精検率は、個別(内視鏡)、集団(X線)、個別(X線)の順に高くなった。精検受診率は、個別(内視鏡)、集団(X線)、個別(X線)の順で低くなった。



- ▶ 精検受診率を検診項目別に年次推移をみると、県全体では緩やかに増加している。R2年度は、集団(X線)は低くなったが、個別(内視鏡・X線)は高くなっていった。

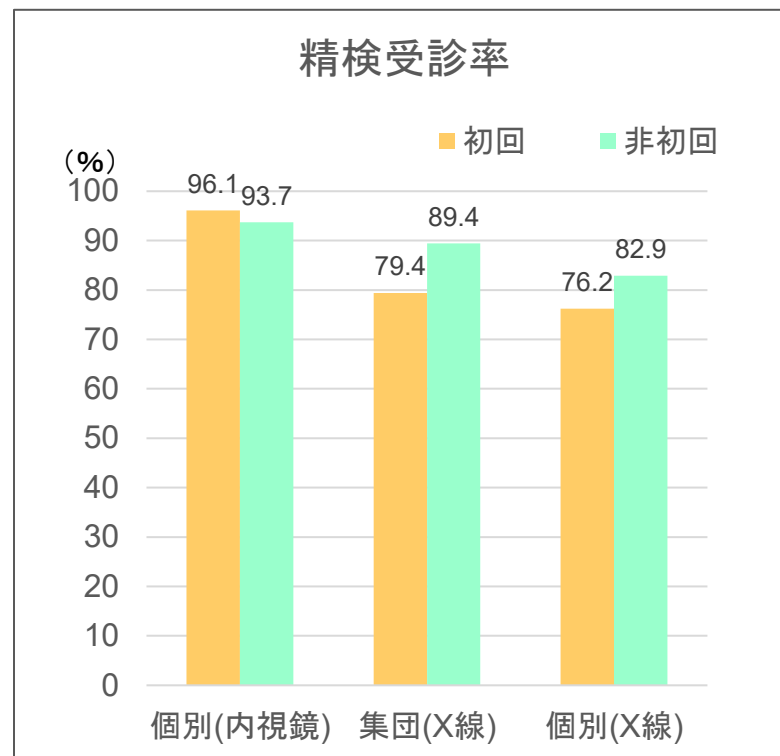
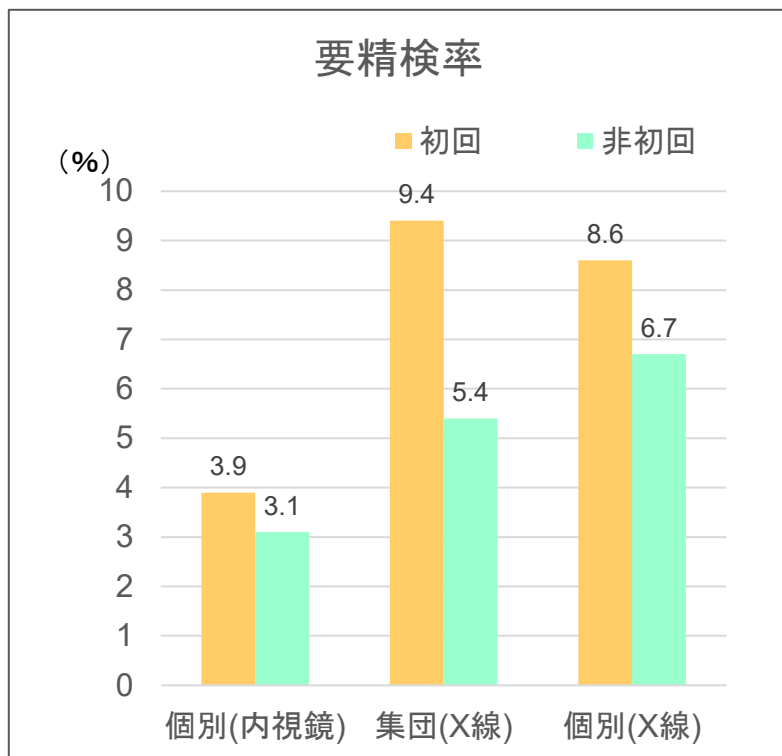


▶ 陽性反応適中度・がん発見率は、個別(内視鏡)が高かった。



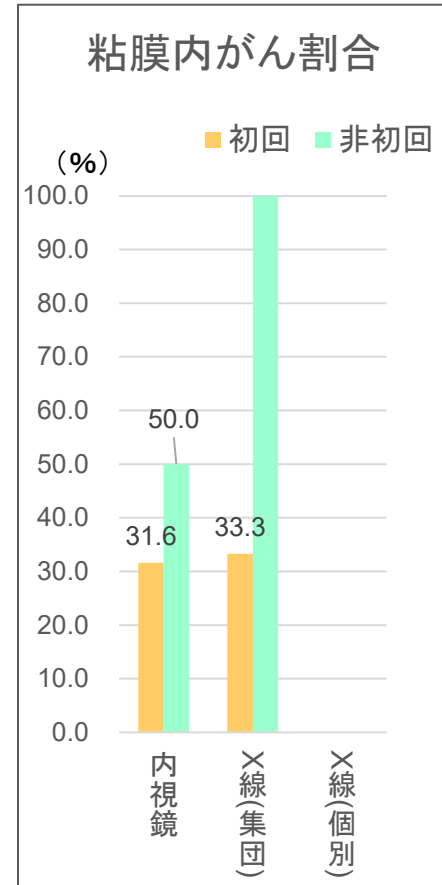
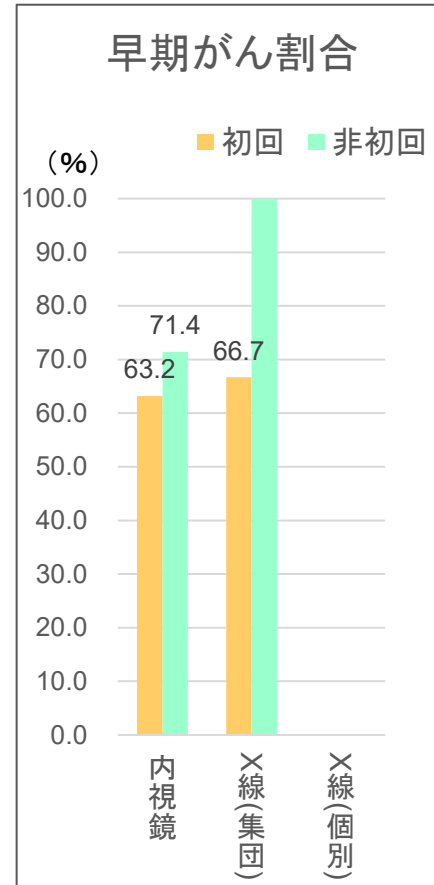
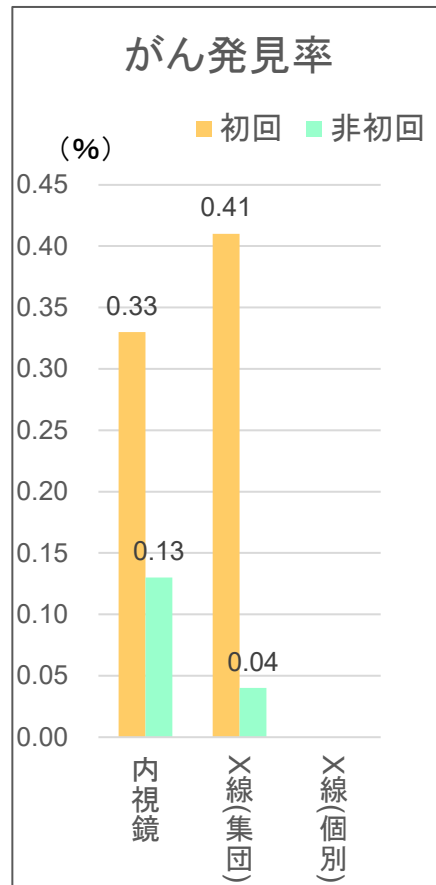
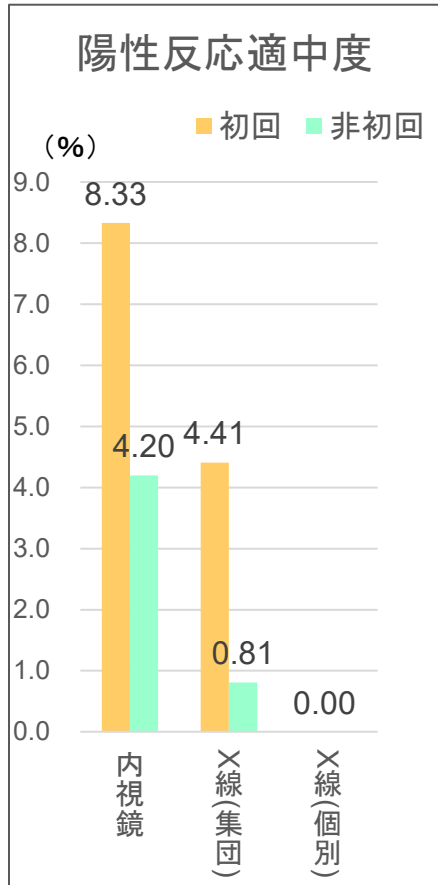
5)プロセス指標の受診歴別の比較

- ▶ 要精検率は、内視鏡・X線ともに非初回より初回が高かった。
精検受診率は、内視鏡では初回・非初回とも高かったが、X線では初回より非初回が高かった。

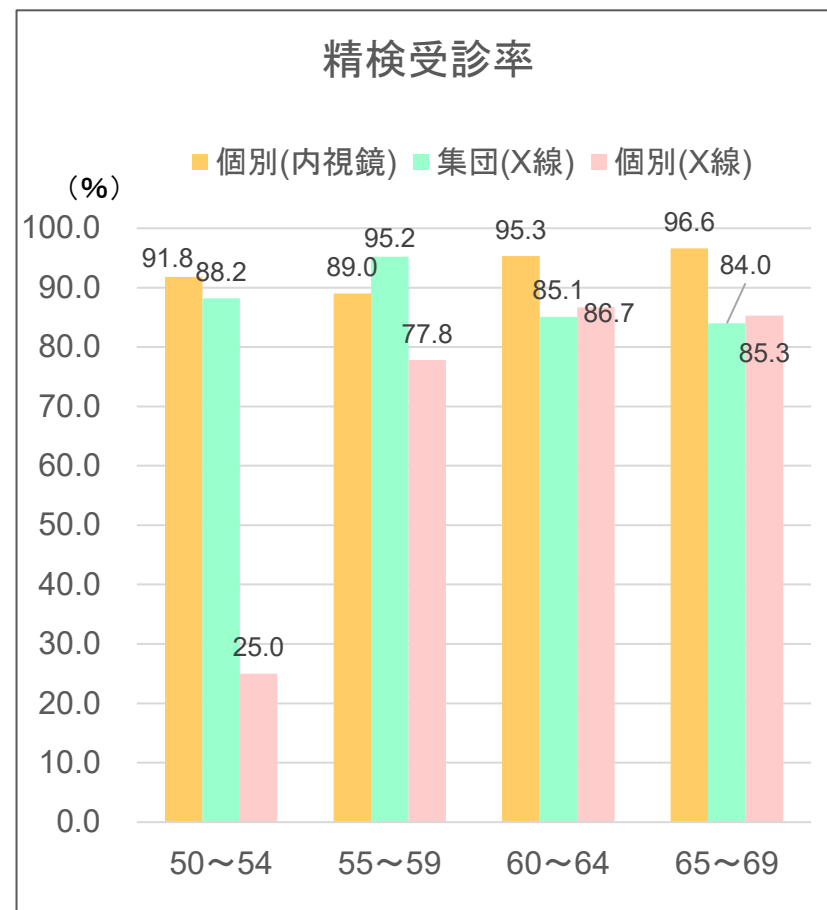
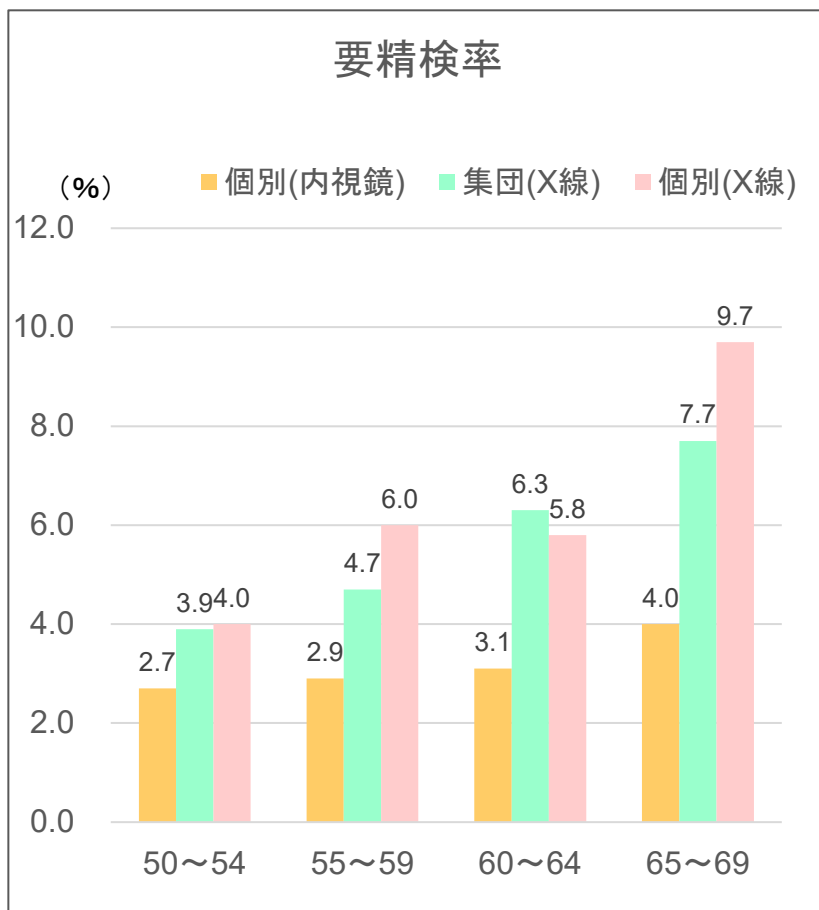




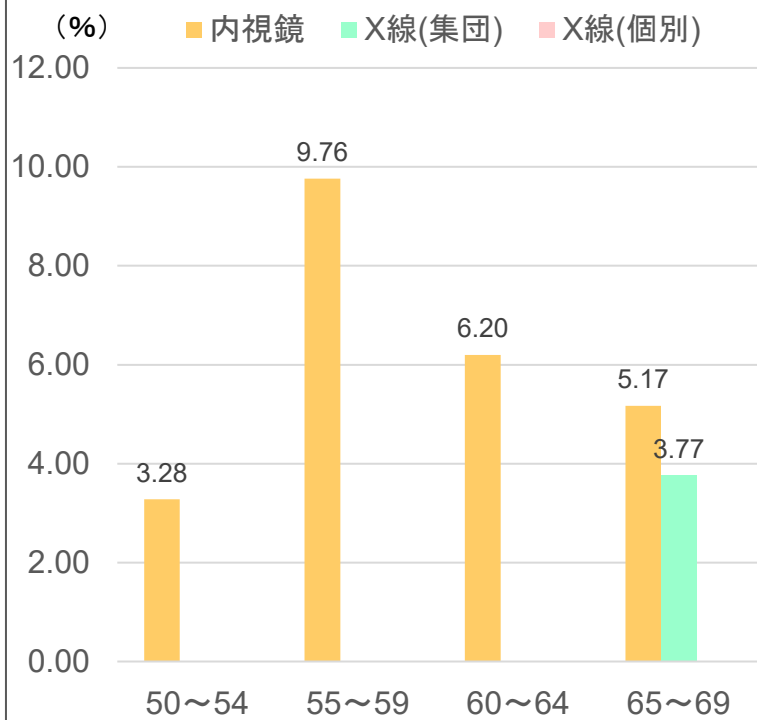
陽性反応適中度・がん発見率は内視鏡、X線ともに初回が高かった。
早期がん割合は、初回よりも非初回が高かった。



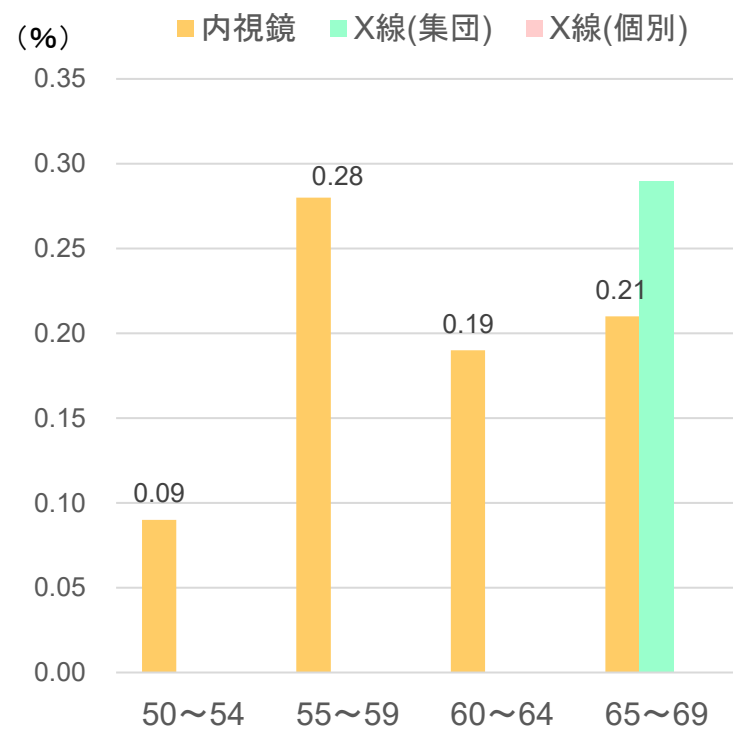
6) プロセス指標の年齢階級別の比較



陽性反応適中度



がん発見率



4.国の示す許容値及び目標値

各がん検診に関する事業評価指標とそれぞれの許容値及び目標値(案)

		乳がん	子宮頸がん	大腸がん	胃がん	肺がん
精検 受診率	許容値	80%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
	目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
要精検率(許容値)		11.0%以下	1.4%以下	7.0%以下	11.0%以下	3.0%以下
がん発見率(許容値)		0.23%以上	0.05%以上	0.13%以上	0.11%以上	0.03%以上
陽性反応適中度(許容値)		2.5%以上	4.0%以上	1.9%以上	1.0%以上	1.3%以上

胃X線の指標

- これらの事業評価指標は、H20年に示され、令和5年度に新基準値が示された(次ページ)
(国立がん研究センター)

国の示す(新)基準値

	胃がん (エックス線)		大腸がん	肺がん (1年間隔)		乳がん (2年間隔)		子宮頸がん		
	2年間隔	1年間隔		検診以外の受診を考慮		連続受診を考慮				
対象年齢	50-69歳		40-69歳	40-69歳		40-69歳		20-69歳	20-39歳	40-69歳
算出に用いた感度*	60%以上		60%以上	50%以上		40歳代：60%以上 50歳代：70%以上 60歳以上：80%以上		65%以上		
要精検率	7.1%以下	7.0%以下	6.2%以下	2.0%以下	2.0%以下	6.8%以下	6.8%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下
現在の許容値	11.0%以下		7.0%以下	3.0%以下		11.0%以下		1.4%以下		
精検受診率	90%以上									
がん発見率*	0.13%以上	0.08%以上	0.16%以上	0.06%以上	0.03%以上	0.38%以上	0.29%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上
現在の許容値	0.11%以上		0.13%以上	0.03%以上		0.23%以上		0.05%以上		
陽性反応適中度*	1.9%以上	1.1%以上	2.6%以上	3.0%以上	1.6%以上	5.5%以上	4.3%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上
現在の許容値	1.0%以上		0.19%以上	1.3%以上		2.5%以上		4.0%以上		
非初回受診者の 2年連続受診者割合**						30%		40%		

胃X線の指標(※)

* 子宮頸がんはCIN3以上に対する値 ** 国民生活基礎調査から算出したおおよその現状の値

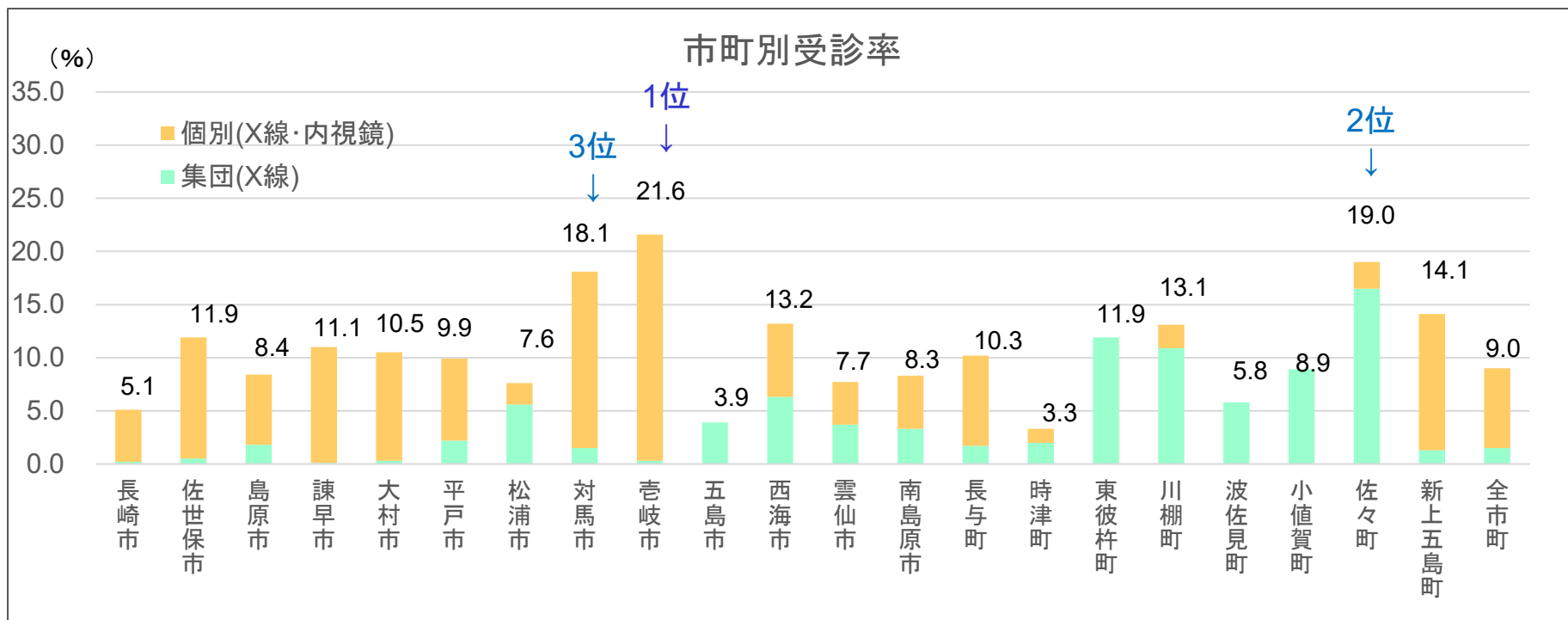
※ 今回の新基準値では、胃がん検診はX線のみ。内視鏡については示されていない。

5.精度管理(プロセス指標)の意味と解釈

1)令和 3年度市町別受診率

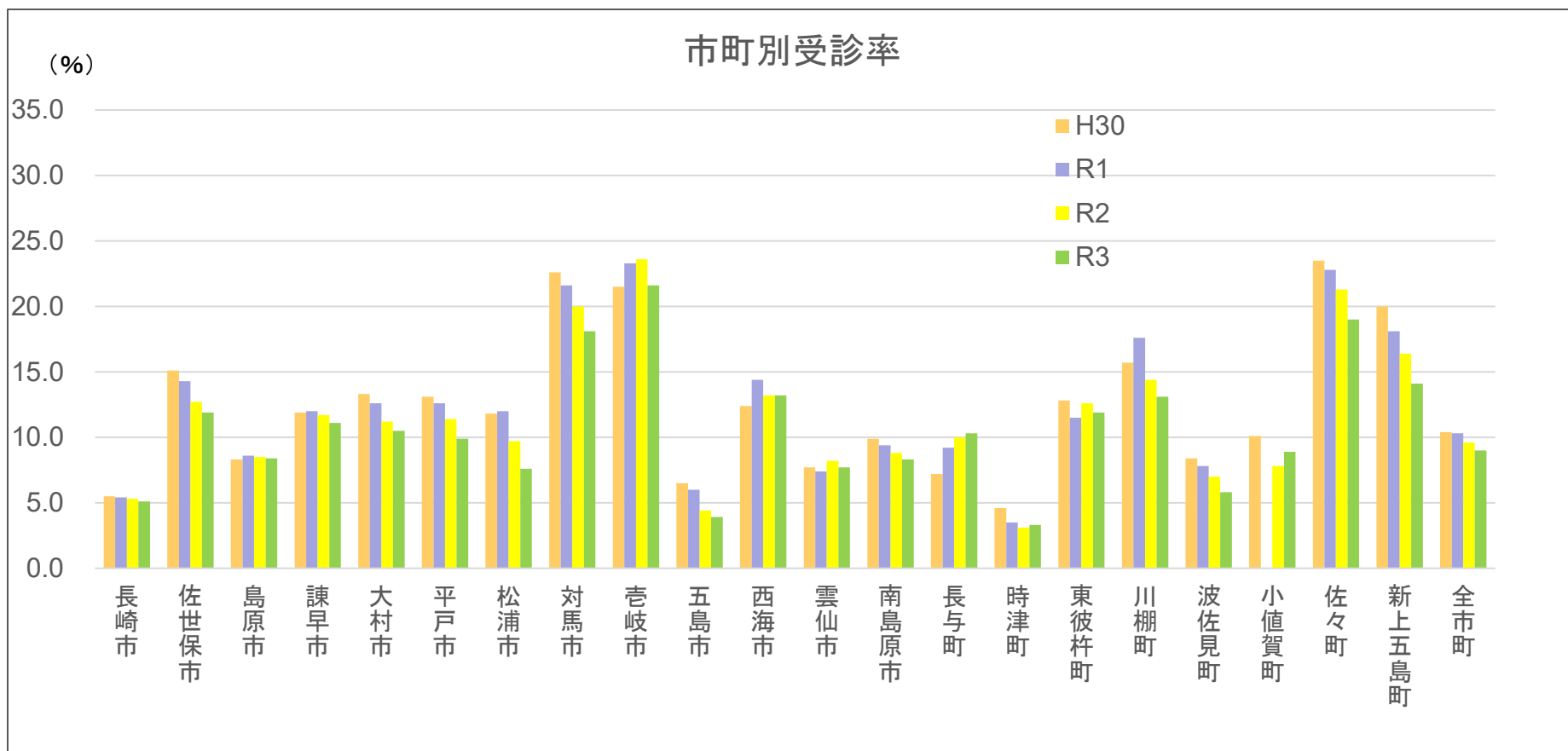
- ・受診者数／対象者数
- ・目的:がん検診の対象者のうち、実際の受診者の割合。受診率は高いことが望ましい。
- ・目標値:50%以上(第3期がん計画)

- 低い場合
- ・考えられる原因
 - 受診勧奨が不十分
 - 市町が地域のがん検診として実施した分のみ計上。
 - 職域における受診者数は含まれていないことから、単純に比較することはできない。
 - 県全体として、目標値を満たしていない。
 - また、集団よりも個別での受診率が高い。



2) 年度別市町別受診率

●多くの市町で大きく低下している。長与町は年々増加している。



3)令和 2年度要精検率

- ・要精検者数／検診受診者数
- ・目的:精密検査の対象者が適切に選ばれているか

(旧)・許容値 11.0%以下

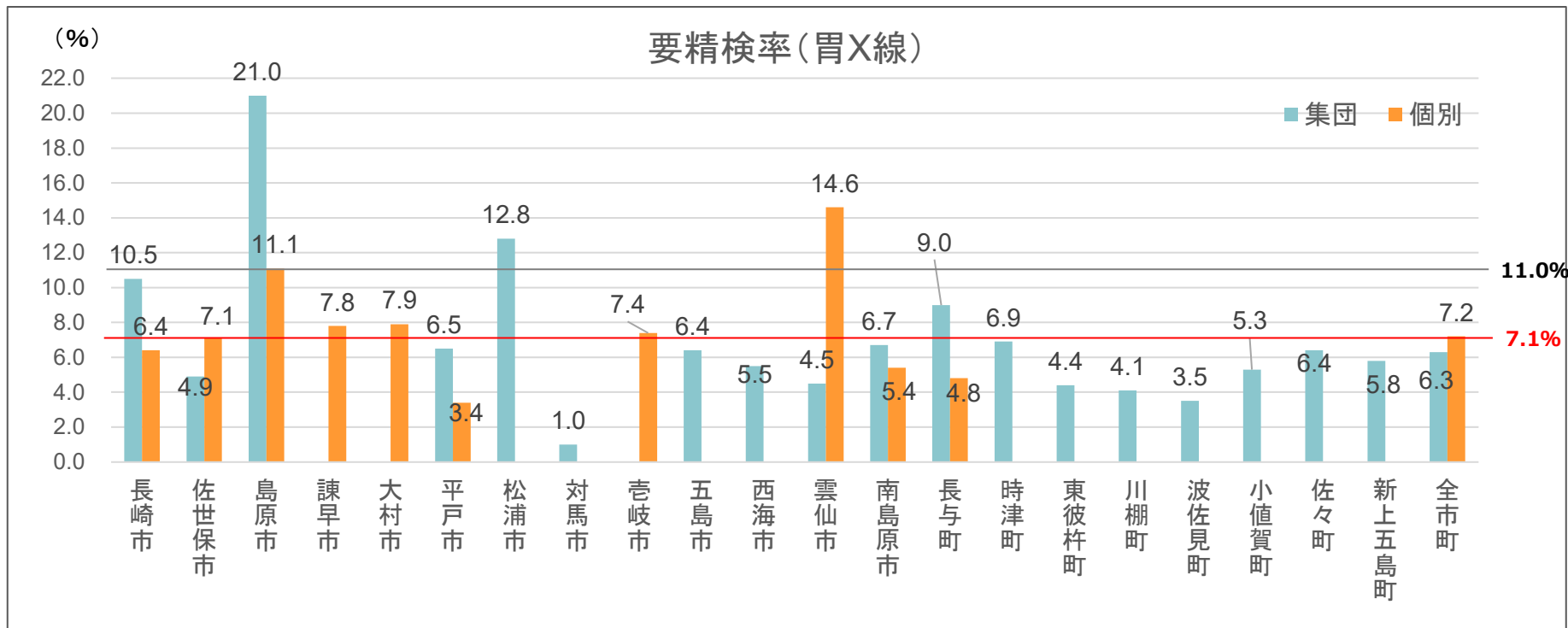


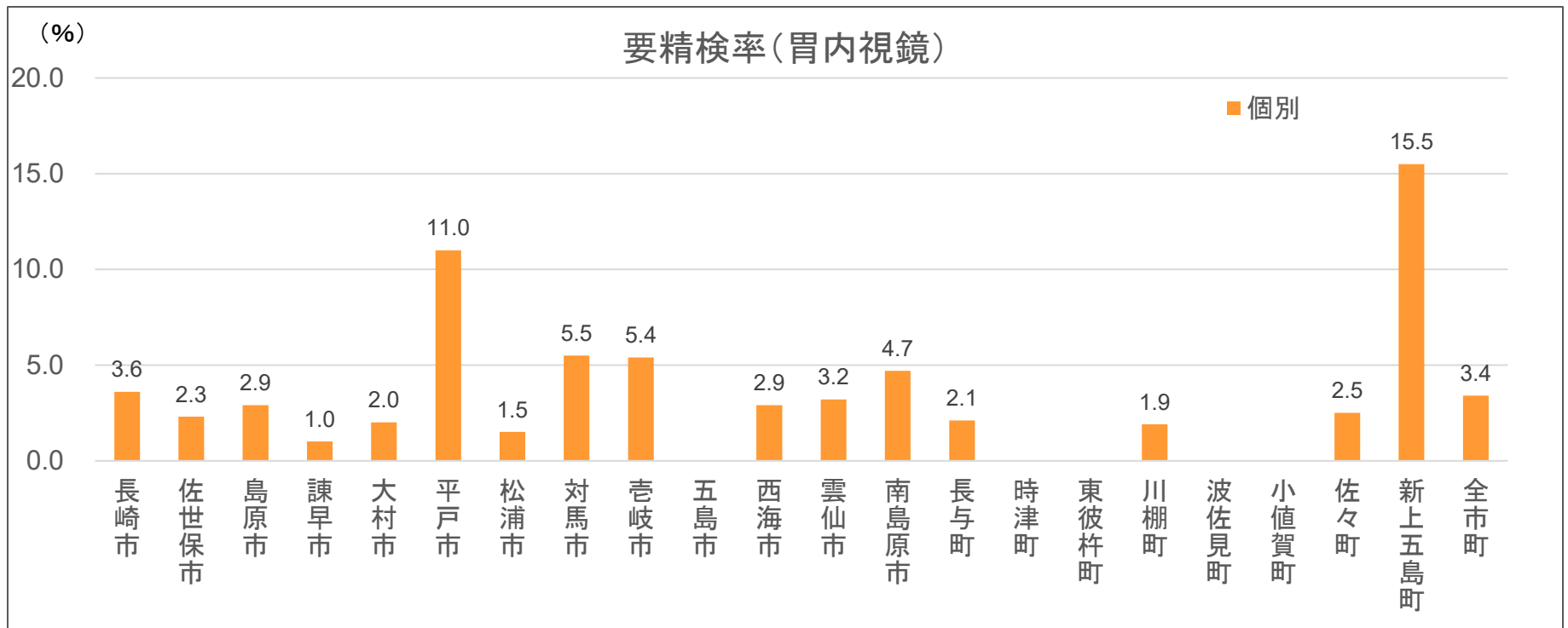
(新)・基準値:7.1%以下[X線、2年間隔、50-69歳]

●高い場合

- ・考えられる原因
撮影や読影の精度管理に問題の可能性がある。
有症状者が、がん検診を受診していないか。

県全体として、集団も個別も(旧)許容値を満たしているが、(新)基準値では個別がわずかに満たしていなかった。





4)令和 2年度精検受診率

- ・精検受診者数／要精検者数
- ・目的:要精検者が精密検査を受診したか
- ・高いほど良い。(精検受診率が100%近くなければ、発見率を正しく評価できない)

(旧)・目標値:90%以上 ・許容値:70%以上



(新)・基準値:90%以上

●低い場合

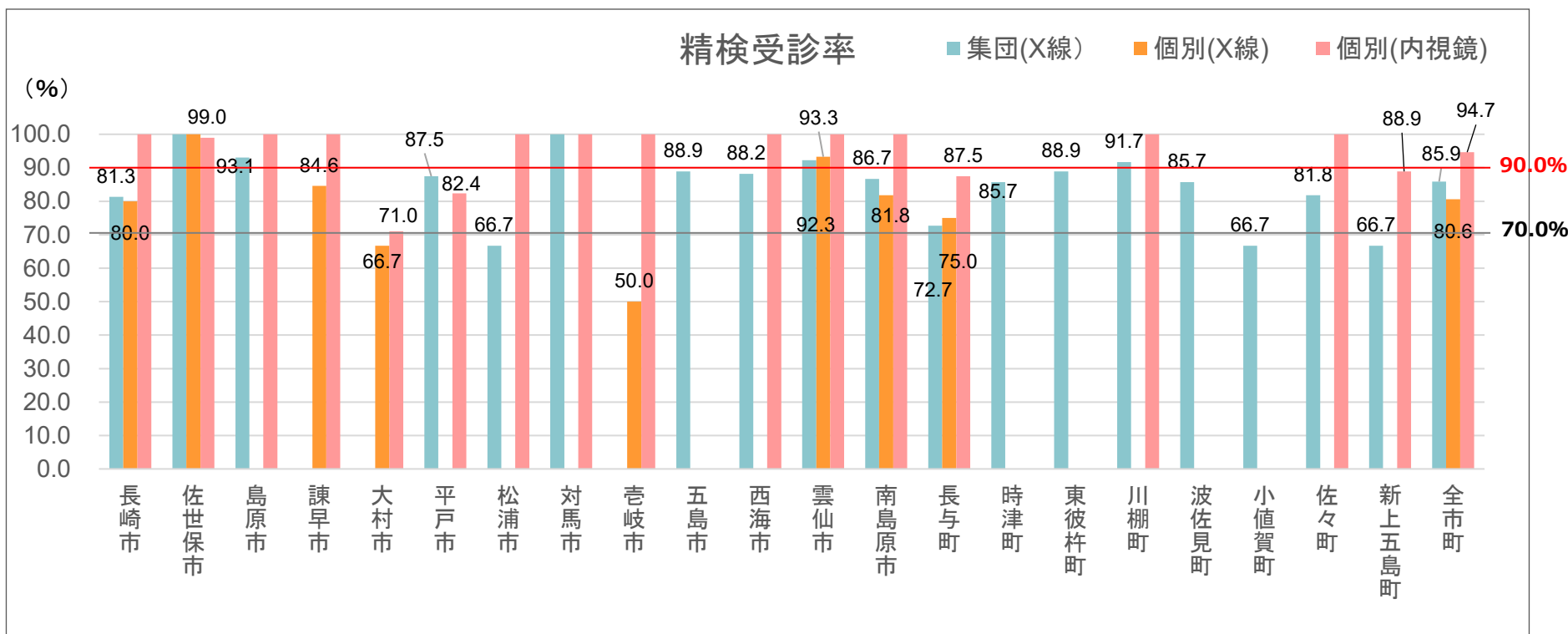
- ・考えられる原因

精検の受診勧奨が不十分。

精検受診の有無を市町が確実に把握できる体制が不十分。

県全体として、内視鏡は(新)基準値も満たしている。

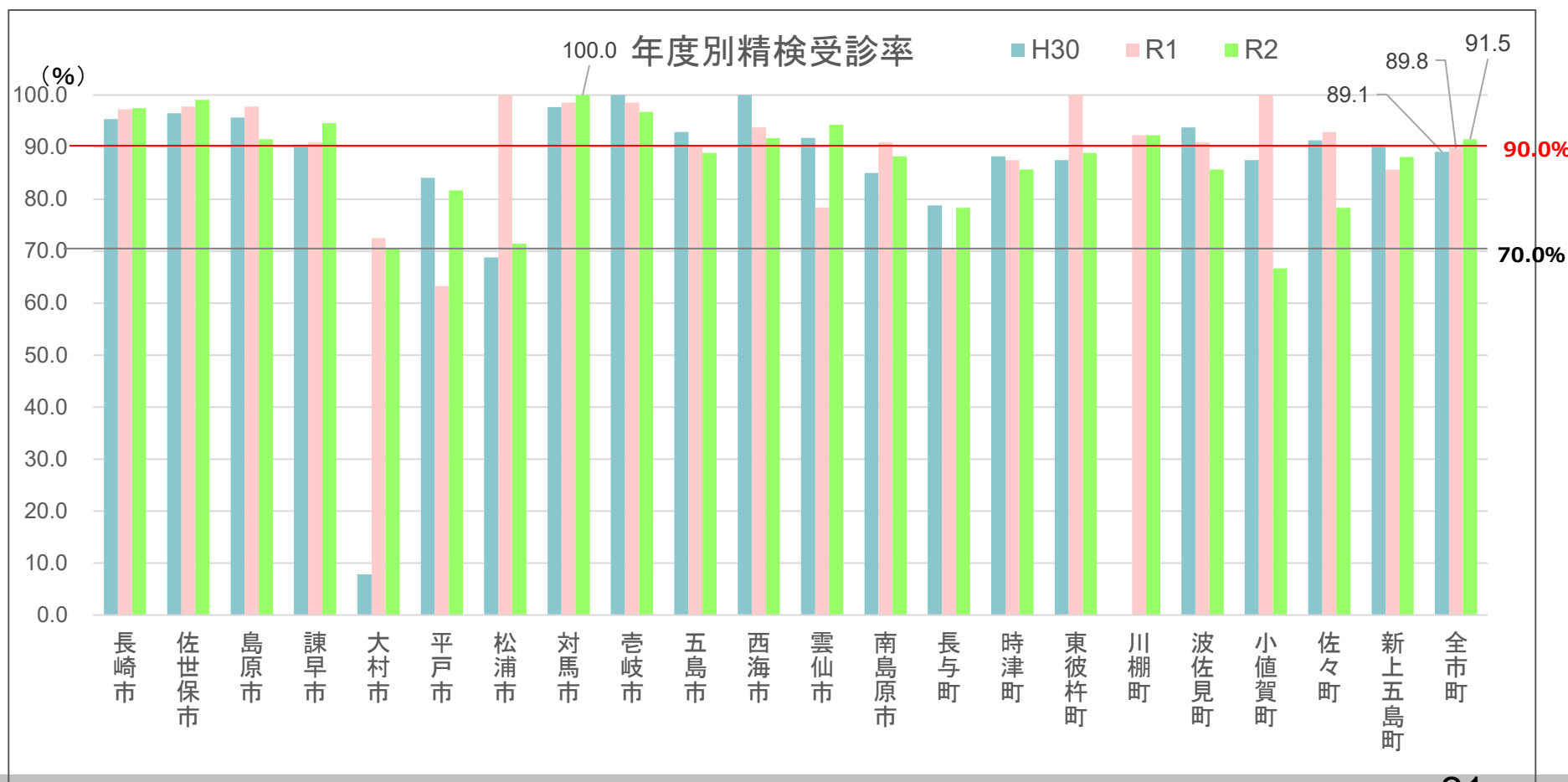
X線は(旧)許容値を満たしていたが、(新)基準値を満たしていない。



5) 年度別精検受診率

●3年連続90%以上の市町:長崎市・佐世保市・島原市・諫早市・対馬市・壱岐市・西海市

○R2年度100%の市町:対馬市



6)令和 2年度陽性反応適中度

- ・がんであった方の数／要精検者数
- ・目的:検診で効率よくがんを発見されたかを測る

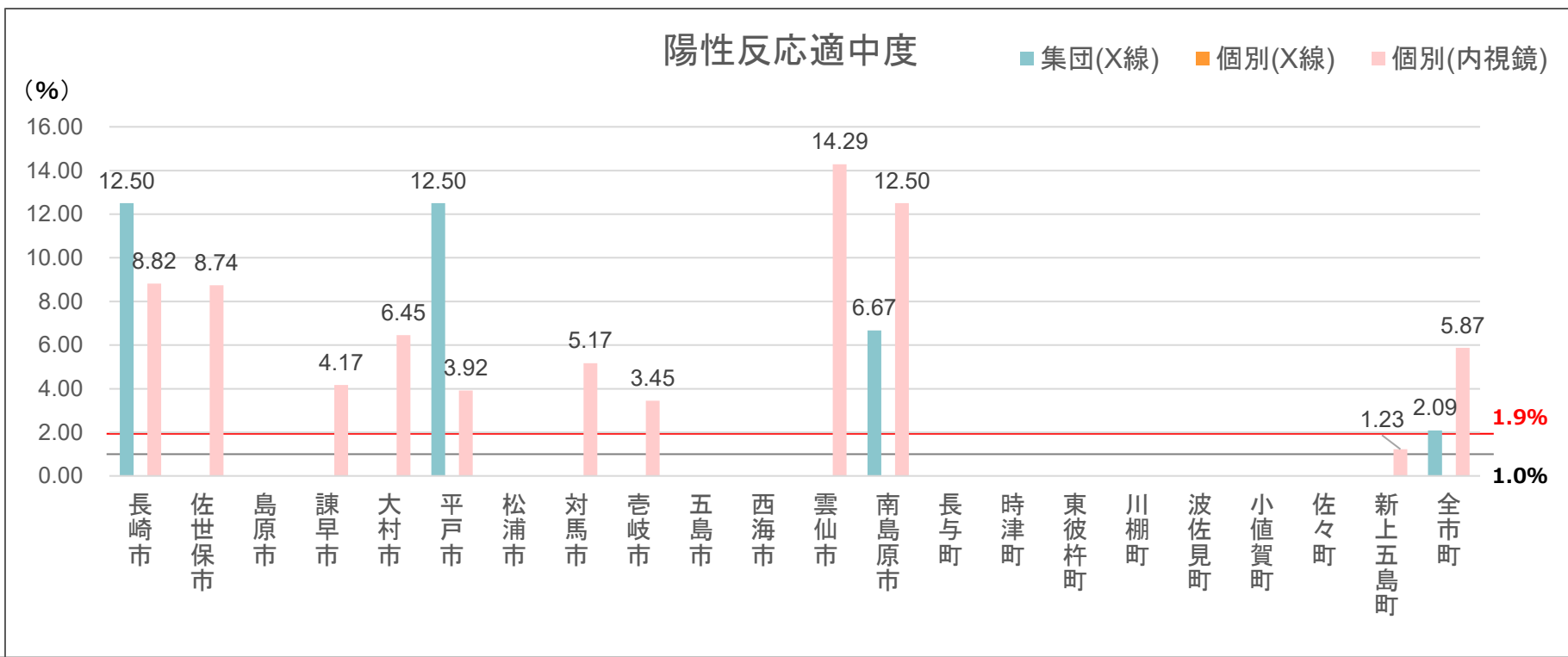
(旧)・許容値:1.0%以上



(新)・基準値:1.9%以上 [X線、2年間隔、50-69歳]

人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。

「陽性反応適中度」は県全体として(新)基準値を満たしている。



7) 令和 2年度がん発見率

- ・がんであった方の数／検診受診者数
- ・目的: その検診システムにおいて、適切な頻度でがんを発見できたか

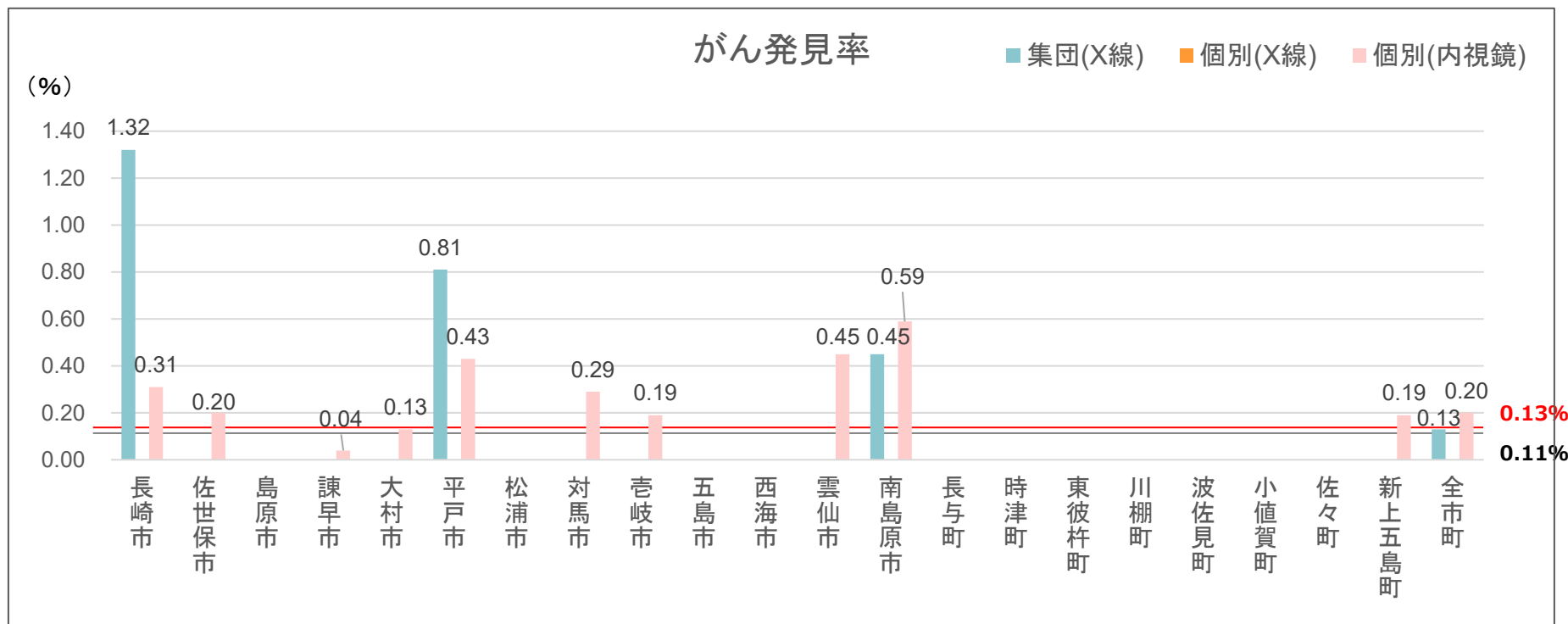
(旧)・許容値: 0.11%以上



(新)・基準値: 0.13%以上[X線、2年間隔、50-69歳]

人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。

「がん発見率」は県全体としては(新)基準値を満たしている。



8)令和 2年度 偶発症

▶ 長崎県では偶発症は報告されていません。

【検診時 もしくは 検診後】

区分	性別	胃部X線				内視鏡				合計			
		全国		長崎県		全国		長崎県		全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	1	...	-	-	-	-	1	...	-	-
	女	5	...	-	-	-	-	5	...	-	-
	合計	6	...	-	-	-	-	6	...	-	-
個別	男	-	-	2	...	-	-	2	...	-	-
	女	-	-	2	...	-	-	2	...	-	-
	合計	-	-	4	...	-	-	4	...	-	-
合計	男	1	...	-	-	2	...	-	-	3	...	-	-
	女	5	...	-	-	2	...	-	-	7	...	-	-
	合計	6	...	-	-	4	...	-	-	10	...	-	-

【精密検査時 もしくは 精密検査後】

区分	性別	胃部X線				内視鏡				合計			
		全国		長崎県		全国		長崎県		全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	3	...	-	-	-	-	3	...	-	-
	女	4	...	-	-	-	-	4	...	-	-
	合計	7	...	-	-	-	-	7	...	-	-
個別	男	-	-	-	-	-	-
	女	1	...	-	-	1	...	-	-	2	...	-	-
	合計	1	...	-	-	1	...	-	-	2	...	-	-
合計	男	3	...	-	-	-	-	3	...	-	-
	女	5	...	-	-	1	...	-	-	6	...	-	-
	合計	8	...	-	-	1	...	-	-	9	...	-	-

6.まとめ

受診率、精検受診率について

- ▶ 受診率で目標値を満たしている市町はなかった。
精検受診率は、県全体として、内視鏡は(新)基準値を満たしているが、X線は(旧)許容値は満たすが、(新)基準値を満たしていない。
精検受診率を向上させるためには、精密検査の受診勧奨を行うことに加えて、精検医療機関からの精密検査結果を、市町が適切に把握できるよう体制を整えることが必要である。

要精検率について

- ▶ 各市町、検診形態(集団、個別)によりばらつきがある。
県全体として、集団も個別も(旧)許容値を満たしているが、(新)基準値でみると、個別(X線)はわずかに満たしていなかった。

がん発見率、陽性反応適中度について

- ▶ 人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。
県全体として、「がん発見率」「陽性反応適中度」は(旧)許容値・(新)基準値を満たしていた。